



たもんじ交流農園 便り

Vol.12 2019年3月号

“たもんじ交流農園便り”は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。



たもんじ交流農園事業は、平成30年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



特集1 たもんじ交流農園第三期(最終)完成図

いよいよ3月24日(日)に第二期開園式を迎えるたもんじ交流農園。畑は12畝が出来上がり、最終第三期(2020年3月)を見据えた大まかな配置も完了。この一年もまた皆さんと楽しい経験をさせて頂きました。第三期は、当初の「まちなか農園」として6つの方向性(1)



土いじりから体験できる緑地確保、(2)コミュニティ形成の場、(3)環境保全及び豊かな教育の場、(4)地域・商店街振興、(5)防災効果、(6)歴史・文化に貢献を視野に、四季折々いつでも行きたくなる空間になればと思っています。季節の野菜や花、水景(ビオトープ)、木のベンチ、収穫祭のための広場、そして環境系(コンポスト、雨水活用等)、アート系(塀への苔や藁のアート、江戸風門等)など皆さんとアイデア

を出しあいながら作り上げていければ、きっと夢ではないと思っています。

尚、初期スケッチには、車椅子の方も野菜づくりが楽しめるようにと馬蹄形の畑をレイアウトしましたが、収穫祭等で必要な空間確保のため、ユニバーサルで「動かせる畑」は出来ないかと日夜思案中・・・であります。(松本正毅記)。



特集2 今タネ蒔くなら この江戸野菜!!

新シリーズ (予定)

江戸野菜を育ててと言われても何が江戸野菜なのかよくわからなかったそんなあなたに、代表的な江戸野菜をタネ蒔く季節順に、シリーズでご紹介していきます。詳しくは農園内に掲示していく予定です。(出典『江戸東京野菜ガイド』(株)小城プロデュース)(末林和之記)

<p>寺島ナス</p>  <p>本来「3月にタネ蒔きし苗を育てて5月連休頃に定植して育てる」のだそうですが、私たちは苗からです。今年も苗販売はGW頃を予定しています。</p>	<p>馬込半白キュウリ</p>  <p>大井胡瓜を改良したもので胡瓜と瓜のハイブリッド野菜。「3月中旬にタネ蒔きし、4月中旬～下旬までに定植、収穫はタネ蒔き後約75日」で7月中旬頃出荷。</p>	<p>東京大越ウリ</p>  <p>江戸時代は北区田端付近で栽培、昭和に入り奈良漬け加工用として改良された。「3月下旬にタネ蒔きし5月上旬に定植、60日ほどで収穫」出荷時期は7月下旬～8月中旬頃。</p>	<p>内藤カボチャ</p>  <p>江戸時代、内藤家の下屋敷(現新宿御苑)で栽培。「3月下旬にタネ蒔きし5月上旬に定植、60日ほどで収穫できる」出荷は7月中旬～8月下旬。</p>	<p>渡辺早生ゴボウ</p>  <p>滝野川ゴボウから選別、練馬区大泉の渡辺正好氏が昭和25年に育成。「3月～4月にタネ蒔きし、出荷時期は9月上旬～2月下旬。</p>
---	---	--	--	---

うちの畑まん 第5回 日本リ・ファッション協会 鈴木純子さん

日本リ・ファッション協会の鈴木純子です。わたしたちは『衣育』の一環として「たもんじ交流農園」をお借りしてコットンと藍を育ててきました。

一番の思い出は去年9月に開催した「藍の生葉たたき染めワークショップ」イベントです。子どもたちにTシャツの布も元々は植物であり、色も植物からもらっているんだということを知ってもらい、地球環境・循環の意識を持つための一助としてもらえたらという願いをこめて、やって楽しい着て(使って)楽しい藍の染色の会を開催致しました。当日は、子どもたちも含めた多くの方に参加頂き、畑で育った元気な植物の恵みに感動し、思わず感謝しちゃう楽しい時間を過ごしました。畑を借りるときにイメージしていた夢の一つの実現です。あ～たのしかった*¥(^o^)/*。



ちょっとでも植物や土に触れると自然からエネルギーをダイレクトに受けて癒されたり、なんだかスッキリしたりします。自分の内面で起きる変化を楽しみたいかたにも畑仕事はおすすめです^^

実は、公私ともに畑を続けるのが難しくなったので、今年の1月末で退会させて頂きました。いままでお世話になった皆様、有難うございました。またいつの日か農園でお会いしましょう!!(鈴木純子記)

新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 9-1

デイサービス向島の家 スタッフ&利用者



高木会長と代表の斉藤さん

- ① 東向島で小さいデイサービスをしています。マイペースで四季の移り変わりを土をいじりながら感じていきたいと思えます。菜園初めてですが、色々育ててみたいです。
- ② 色々匂な野菜を育てられたらと思えます。
- ③ 地元の歴史等
- ④ 元々、土いじりが好きです。事業所に集う方たちと一緒に、いろいろ野菜などを育てられたらと思えます。育て方などいろんな知恵を先輩方から教えてもらえるとうれしいです。



てらたま協議会より

3月24日(日) 11:00～第二期開園式&ピザ焼きパーティー

2年目を迎えるたもんじ交流農園を皆で楽しみます。ピザ・ワイン・ソフトドリンク付き 大人2,000円/人、小中学生500円/人。農園会員の方は、2名様まで無料ご招待です!!!

引き続き耕作者募集中!! 新たにハーフサイズ(約5.5㎡)の申込み開始

対象: たもんじ交流農園を創設し、江戸野菜を復活させるという当協議会の理念に賛同頂ける方他、耕作期間: ~2020年3月、農園会費: フルサイズ/約11㎡(7畳): 5,000円/月、ハーフサイズ/約5.5㎡(3.5畳): 2,500円/月、応募方法: ①お名前、②ご住所、③電話番号、④メルアド、⑤フルサイズorハーフサイズ、⑥自己PRを teratama.machidukuri@gmail.com 迄メール願います。



たもんじ交流農園便り
No.12-般 2019.3.18 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

<http://www.teratamakyougikai.org/diary2.html>

問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。